



**手塚博也農業再生協議会長あいさつ**



本協議会は、安曇野市内における生産者の農業経営の安定と生産力確保を図るとともに、食糧自給率の向

上と農業の多面的機能を維持する事を目的として、多くの関係者団体とともに取り組みを進めております。

現在の課題の一つとして、本年度から本格的に施行となった「農業者戸別所得補償制度」について、農家の皆様にご理解をいただくには何かが必要かということです。

これを円滑に実施するには、行政や農業者団体等の連携体制の構築は急務であると認識しています。

また、戦略作物等の生産振興や米の需給推進を通じた地域農業振興、農地利用集積や耕作放棄地の再生利用、担い手の育成・確保なども重要な課題であると考えております。

こうした生産から経営・消費・流通に至る

まであらゆる分野で資するべく、本協議会を運営していく所存であります。

農業振興を基軸として、より良い安曇野市を作り上げていくために、市内農業者をはじめ、多くの市民の皆様からも本協議会の活動にご理解とご協力を賜りながら今後も取り組みを進めて参りたいと思っております。

豊かな自然ときれいな水をたたえる安曇野市の素晴らしい景観を後世に繋げていけるよう、農業者及び関係者皆様の益々のご発展とご活躍を祈念し、本協議会発足のあいさつと代えさせていただきます。



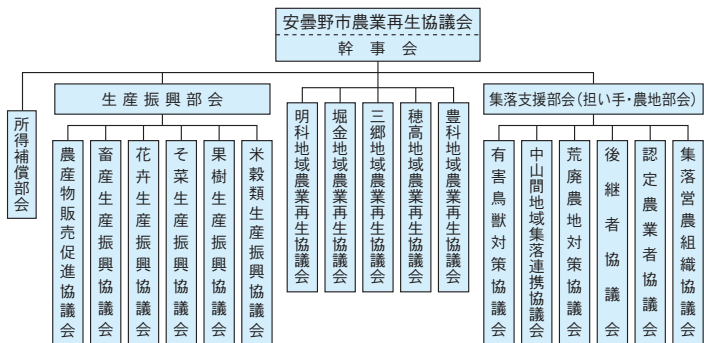
**安曇野市農業再生協議会とは**

安曇野市農業再生協議会の設置目的につきましまして、

- ・国の農業施策（戸別所得補償制度）を活用し食糧自給率の向上を図る。
- ・農家等が抱える課題解決に向け、農業技術の向上や農業後継者対策、有害鳥獣対策等、改善策を研究、検証し普及を図る。
- ・担い手への農地の集積や耕作放棄地の解消等農地の有効利用を促進する。

などが主な目的であり、平成二十三年六月

安曇野市農業再生協議会組織図



にスタートいたしました。組織図につきましては、上記のとおりであり、三つの部会と、五つの地域再生協議会で構成されており、安曇野市の農業の将来像を考え、取り組む体制となっております。

**生産振興部会**

生産振興部会では農業を米穀・果樹・野菜・花卉・畜産・販売促進の六つの協議会に分け、最終的な農家所得の向上を目的として現在二十九の事業に取り組んでいます。

各協議会は生産を担う農家を中心とし、JA・農業改良普及センター・行政も加わり、一体となつて課題検討や試験調査を実施しています。

事業の一例を左記に抜粋で紹介いたします。なお、今年度末に今年の事業成果をまとめ編冊し、行政・JA等の関係機関へ配布し農家の皆様にお知らせしますので、参考にしていただければと考えております。

◆米穀類：「土壌水分管理による黒豆安定生産事業」

昨年の猛暑や干ばつにより多大な減収となつた黒豆の生産について「土壌水分目視計」を用い、簡易的かつ適切な灌水管理を行い安定生産



▲土壌水分目視計

に取り組んでいます。

現在、市内5箇所のは場に試験設置しており、収量への影響を調査中です。

当試験が効果的であれば、本格的に市内黒豆生産者への普及に着手し、市の振興作物の推進を図りたいと考えています。

◆果樹：「SS（スピードスプレーヤ）への遮断板設置によるドリフト防止対策事業」

SSを用いた農薬散布による、果樹園外への農薬飛散を防止するための対策の一つとして「SS遮断板設置補助事業」を昨年度から実施しており、既に四十件ほど設置され徐々に浸透してきています。



▲遮断版を設置したSS

補助事業期間は平成二十四年度で最終とさせていただきますので、設置を希望される農家におかれましてはご相談ください。

◆花卉：「タイベックシートによるスリップス被害対策検証事業」

花卉栽培においてはスリップス（体長0.7〜0.3mmの微小害虫）の被害が多く、その対策が課題となつております。現在、穂高地域の花卉農家にお問い合わせし、「タイベック」というシートをカーネーションの育成ハウスの周囲に張り、害虫の個体調査を実施中です。



▲タイベックシート設置



▲固体調査用粘着シート

## 集落支援部会

### ◆集落の農業を考えましょう

農業者の皆さんにとって、農業経営を行っていく上での課題は何でしょうか。農産物価格の下落や後継者不足、高齢化などの問題がまずは考えられます。

さらに、周りの農村環境の変貌による農業基盤の脆弱化が目に入るでしょう。

集落支援部会の役割は、このような課題を克服することにより、農業生産力の強化や堅固な農村を再生することです。

第一に、集落単位で地域の農業や農地のことを話し合う仕組み（地域営農システム）づくりが必要です。

この仕組みは、まとまりのある者が集まり、農作物の作付けの集団化、農作業の効率化、農地の利用調整などを、個々の自主性を尊重しながら考えるところから始まります。

その後、集落の農業者を徐々に巻き込んで、大勢の組織になっていくことが理想です。集落内農家の三分の二以上の構成となれば「農用地利用改善団体」と言えます。

そして、どのように農作業や農用地利用の改善活動を実施するかを具体的に表した規定を作ります。農用地利用改善団体が策定したものは「農用地利用規程」と言います。ここ

では、実際に誰が集落の農業を担っていくかを明確にすべきです。

この担い手には、認定農業者など個々の農家が当てはまる場合もありますが、合意を得た構成員の中から、共同販売経理を行う「集落営農組織」を立ち上げ、この組織を担い手に位置付ける地域営農システムも、これからの安曇野市農業に必要なと考えております。

### ◆農地を守る集落営農

集落営農組織は、市内では二十二組織が設立されました。水稲をはじめ、小麦・大麦・大豆・ソバなど水稲に代わり集約的に栽培できる転作作物や、市の振興作物である玉ねぎ、加工用トマト、スイートコーンなど収益性の高い園芸作物の栽培に取り組まれています。

これら作物の計画的な栽培体系の確立により、各組織で個々の所得の向上を目指すと同時に、集落内農地の効率的な利用と維持が保たれています。

### ◆耕作放棄地再生のための支援

集落営農組織により耕作放棄地の発生を防ぐことができますが、発生してしまった場合に次のような支援策があります。

#### ○歩行型草刈機の貸出し

作物を何も作らず農地を荒らしておく、

月日が経つほど再び作物を栽培するのが難しくなります。農地に復元するのに大変苦労する場合があります。

手遅れにならないうちに早目に再生させましょう。手持ちの草刈機では手に負えない場合、歩



▲歩行型草刈機

行型の草刈機を無償（燃料代は利用者負担）で貸し出します。次の三箇所に設置してありますので気軽にご利用ください。

- ・JAあづみ三郷地域営農センター
- ・JAあづみ穂高地域営農センター
- ・JA松本ハイランド川手地区営農センター

#### ○堆肥散布への補助

耕作放棄地の新たな土づくりのための堆肥散布に対し、市では、10a当たり最大一三、二〇〇円の補助金を交付します。

これは、農業委員会の判断が条件となりますが、前述のような草刈後の農地の再生利用のためにご利用ください。

### ◎安曇野産農産物の販売促進 イメージキャラクター決定

市の農産物の販売促進と「安曇野」の知名度をさらに上げることが目的に、このほど、「安曇野市の農産物のイメージキャラクター」を決定いたしました。

このキャラクターを作成するにあたり、安曇野のイメージアンケートを実施した結果「水がきれい」が一番多く、安曇野の清らかな「水」から育まれる「農作物」をイメージした図柄になりました。

今後は、このキャラクターで「法被」や「のぼり旗」等を製作し、首都圏等への農産物の販売に役立てていく予定です。



### 農家紹介

黒大豆「信濃黒」を安曇野ブランドに育てるために、平成十九年晩秋に、最初の黒豆プロジェクト会議が安曇野市ブランド推進室主催で開催され、全国的に知名度がある丹波の黒豆に匹敵するブランドに育てようと意気込み、産学・官一体の取り組みが始まりました。

生産は明科地域の実需者の音頭で、十九年からJAや普及センター等の指導を受けて開始し、収穫までは順調に進みましたが、選粒から出荷までが、「苦労豆」の始まりでした。出荷規格に合うよう選粒を手選別で行わなければならず、これが大変な苦労でした。

市の協力で二十年からの選粒機導入及び脱穀機の修理等により一部の作業は機械化され品質・価格・規格は漸く安定しましたが、全国に通用するブランド豆として出荷するには生産者として、手選別を行わなければならないジレンマに駆られ、自分で選粒した豆を更に女房に「自分が買つならぬの精神」で選粒してもらい、結果規格外が非常に多く、これも「苦労豆」でありました。

ブランド推進室と共に「信州の名品 発掘商談会in東京」で生産者代表として商品売り込みに参加し、生豆をデパートに出荷しましたが、全国の価格には程遠く、行政の補助がなければ辞めたい心境でした。

何とかブランド化のために頑張り、コストに見合う価格になることを期待し生産に励んできましたが、二十二年産は干ばつにより、灌水施設の無い畑は収穫皆無となり、本年産はもう辞めようかと思っておりますところ、市米穀類生産振興協議会で丹波地方へ先進地研修に行き、そこで、ほ場の水分計に出会い「目で見る土壌水分管理で再挑戦を」と思い、50aの作付けに挑戦することにしました。

何とか「苦労豆」が「幸せ幸福豆」に変身し、信濃黒が全国区デビューする事を願わずにはおられません。



(明科地域 真嶋 徳幸)

### 問合せ先

安曇野市農業再生協議会

(安曇野市農林部農政課)

TEL 〇二六三ー七七一ー

FAX 〇二六三ー七七一ー六〇六〇